

**日本橋・八重洲の街全体を舞台に、100 匹以上のポケモンと出会う！
「伝説のポケモンと出会う レジェンドリサーチ in 日本橋&八重洲」
オープニングイベント・メディア内覧会を開催**
**謎解きクリエイター 松丸亮吾さんが登場！
フシギバナ・リザードン・カメックスの立像もお披露目**

三井不動産株式会社（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：植田俊、以下「三井不動産」）は、9 月 8 日（火）、「伝説のポケモンと出会う レジェンドリサーチ in 日本橋&八重洲」（以下、「本イベント」）のオープニングイベント・メディア内覧会を、日本橋三井タワーにて開催しました。

ポケモン 30 周年を記念した本イベントは、9 月 9 日（水）から 11 月 29 日（日）まで、歴史ある街並みと最先端の都市機能が共存する日本橋・八重洲エリアを舞台に、開催します。開催に先立ち実施したオープニングイベントでは、三井不動産 商業施設・スポーツ・エンターテインメント本部 スポーツ・エンターテインメント事業部長の二井内宏と、謎解きクリエイターの松丸亮吾さんが登壇。フシギバナ・リザードン・カメックスの立像をアンバールしたほか、日本橋・八重洲の街全体を舞台にした本企画の狙いや、街歩きとポケモン、謎解きを組み合わせた体験の魅力について紹介しました。ポケモンたちとともに街を巡りながら、新たな魅力や発見に出会える本イベントへの期待が膨らむオープニングイベントとなりました。



フシギバナ・リザードン・カメックスと松丸亮吾さん

なお、本イベント期間中は、フシギバナ・リザードン・カメックスに加えて、各『ポケットモンスター』シリーズに登場する伝説のポケモンを含む、計 19 匹のポケモンが立像で登場するほか、建物内外に総勢 100 匹以上のポケモンたちが姿を現します。また、有料の謎解き「ポケモンレジェンドリサーチ～伝説のリサーチレポートを呼び覚ませ！～」では、ポケモンを探しながら、日本橋・八重洲の街歩きを楽しむことができます。謎解きは、松丸亮吾さん率いる謎解きクリエイター集団「RIDDLER」が制作し、子どもから大人まで、謎解き初心者やポケモンに詳しくない方でも楽しめる内容となっています。さらに、東京ミッドタウン八重洲 5 階には「レジェンドリサーチ グッズ販売コーナー」が登場。本イベントのために描き下ろされたキービジュアルを使用したオリジナルグッズを多数販売します。

本イベントを通じて、ポケモンたちとの出会いとともに、日本橋・八重洲の街の新たな魅力を発見する、この秋ならではの体験をぜひお楽しみください。

「伝説のポケモンと出会う レジェンドリサーチ in 日本橋&八重洲」 オープニングイベント・メディア内覧会 レポート

■フシギバナ・リザードン・カメックスの立像をアンバール！

オープニングイベントでは、二井内と松丸さんが登壇し、フシギバナ・リザードン・カメックスの立像をアンバール。カウントダウンにあわせて 3 匹が姿を現すと、会場は一気に華やかな雰囲気になりました。立像を目にした松丸さんは、その大きさと迫力に「想像以上に大きいですね！めちゃくちゃカッコいい！」と圧倒された様子でした。



三井不動産 二井内（左）と松丸亮吾さん（右）



謎解きキット

■日本橋・八重洲の「街そのものを楽しむ体験」を提供

続いて二井内が本イベントの概要を説明し、「施設の中だけで完結するのではなく、日本橋・八重洲の街そのものを楽しんでもらうことを目指した」と、本イベントに込めた思いを語りました。街中に登場する 100 匹以上のポケモンや計 19 匹の立像を探しながら歩くことで、普段訪れたことのない場所や、街の新たな魅力に出会ってほしいと期待を寄せました。

また、「リアルな場で体験することの価値」について、「誰と一緒に、どんな気持ちで、どんな場所で体験するか、その経験はコピーできない」とコメント。世代を超えて愛されるポケモンと、街を巡りながら楽しむ謎解きを組み合わせることで、日本橋・八重洲という街全体を舞台にした本イベントならではの体験を届けたいとの思いを伝えました。

■松丸亮吾さん「“謎を解くこと”ではなく、“街を歩くこと”が楽しくなる設計に」

続いてのトークセッションでは、幼少期から「ポケットモンスター」シリーズのファンだという松丸さんが、「ポケモン×謎解き」という企画について「夢のような依頼だった」と振り返り、これまで手掛けてきた謎解き作品の中でも特に強い思いと熱量を込めて制作したと語りました。また、日本橋・八重洲エリアに 19 匹のポケモン立像が登場し、そのうち 16 匹が伝説のポケモンであることにも触れ、「これだけ多くの伝説のポケモンに一つの街で出会えるのは夢のよう」と興奮をにじませました。

謎解きの制作にあたっては、登場するポケモンや各作品ならではの世界観を丁寧に落とし込むため、『ポケットモンスター 金・銀』から『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』までのゲーム作品を改めてプレイしたことを紹介。ポケモンの知識がなくても楽しめる内容としながら、シリーズファンにはゲーム内のシーンやモチーフを思い起こさせる仕掛けを随所に盛り込んだと説明しました。



松丸亮吾さん

さらに、謎解き初心者でも最後まで楽しめるよう、段階的にヒントを得られるサイトを用意したことにも触れ、「答えをそのまま教えるのではなく、自分でひらめく楽しさを残したかった」とコメント。単に問題を解くだけでなく、自分自身が物語の主人公となり、伝説のポケモンたちとの出会いを楽しむストーリーにもこだわったと語り、「日本橋・八重洲の街を歩きながら、ポケモンの世界に入り込んだような体験を楽しんでほしい」と呼びかけました。

完成した会場については、「資料で見ていた以上の迫力」と感想を述べ、歴史ある日本橋・八重洲の街並みと伝説のポケモンとの相性の良さにも言及。最後に、「これまで参加してきたイベントの中でも、特にポケモン愛が詰まったイベント。ぜひ自分たちの力で最後のゴールまでたどり着いてほしい」と来場者へメッセージを送りました。

ポケモンで彩られた日本橋エリア

謎解き「ポケモンレジェンドリサーチ～伝説のリサーチレポートを呼び覚ませ！～」のスタート地点となる日本橋三井タワー 1 階アトリウムには、『ポケットモンスター 赤・緑』で最初を選ぶ 3 匹のポケモンの最終進化形である、フシギバナ・リザードン・カメックスの立像が登場。さらに、ルギア・ホウオウをはじめとする伝説のポケモンの立像も登場し、日本橋エリアには計 11 匹のポケモンの立像が設置されています。

さらに、コレド室町 1 では、中央通りに面した 2 階窓ガラス全面に、本イベントのキービジュアルを用いたシティドレッシングを施したほか、室町仲通りには約 50m にわたってポケモンのイラストをあしらった特別な提灯を設置。そのほかにも、街を歩けばさまざまな場所でポケモンに出会える演出を施し、日本橋の街全体を彩っています。



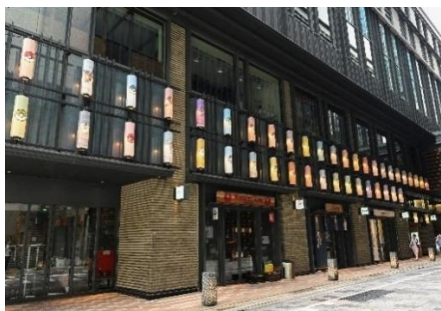
フシギバナ・リザードン・カメックス 立像



ルギア 立像



コレド室町 1 のシティドレッシング



室町仲通りに設置された提灯



ポケモンのイラストがあしらわれた提灯



コレド室町テラス 大屋根広場

グッズ販売コーナーを含む、東京ミッドタウン八重洲会場

東京ミッドタウン八重洲には、ゼルネアス・イベルタルをはじめとする伝説のポケモンの立像が 8 匹登場。また、「レジェンドリサーチ グッズ販売コーナー」も設置され、本イベントのために描き下ろされたキービジュアルを使用した「T シャツ」「マグカップ」「アクリルキーホルダー」等、計 12 種類のオリジナルグッズをはじめ、多彩なアイテムを取り揃えています。

また、今後、東京ミッドタウン八重洲では本イベントに合わせ、ポケモンにまつわる多彩なイベントを予定しています。9 月 18 日（金）から 9 月 27 日（日）までの期間には、学校法人多摩美術大学（所在地：東京都世田谷区、理事長：青柳正規、多摩美術大学 学長：内藤 廣）の学生が、身の周りの不用品や廃材をはじめとするさまざまなモノから制作した 53 匹のポケモンアートが展示される「ポケモンと考える アート・環境教育展 in 八重洲」などを企画しています。詳細は東京ミッドタウン八重洲のホームページや Instagram にて随時発信予定です。

東京ミッドタウン八重洲 HP : <https://www.yaesu.tokyo-midtown.com/>



レジェンドリサーチ グッズ販売コーナー



東京ミッドタウン八重洲 2F ヤエスパブリック

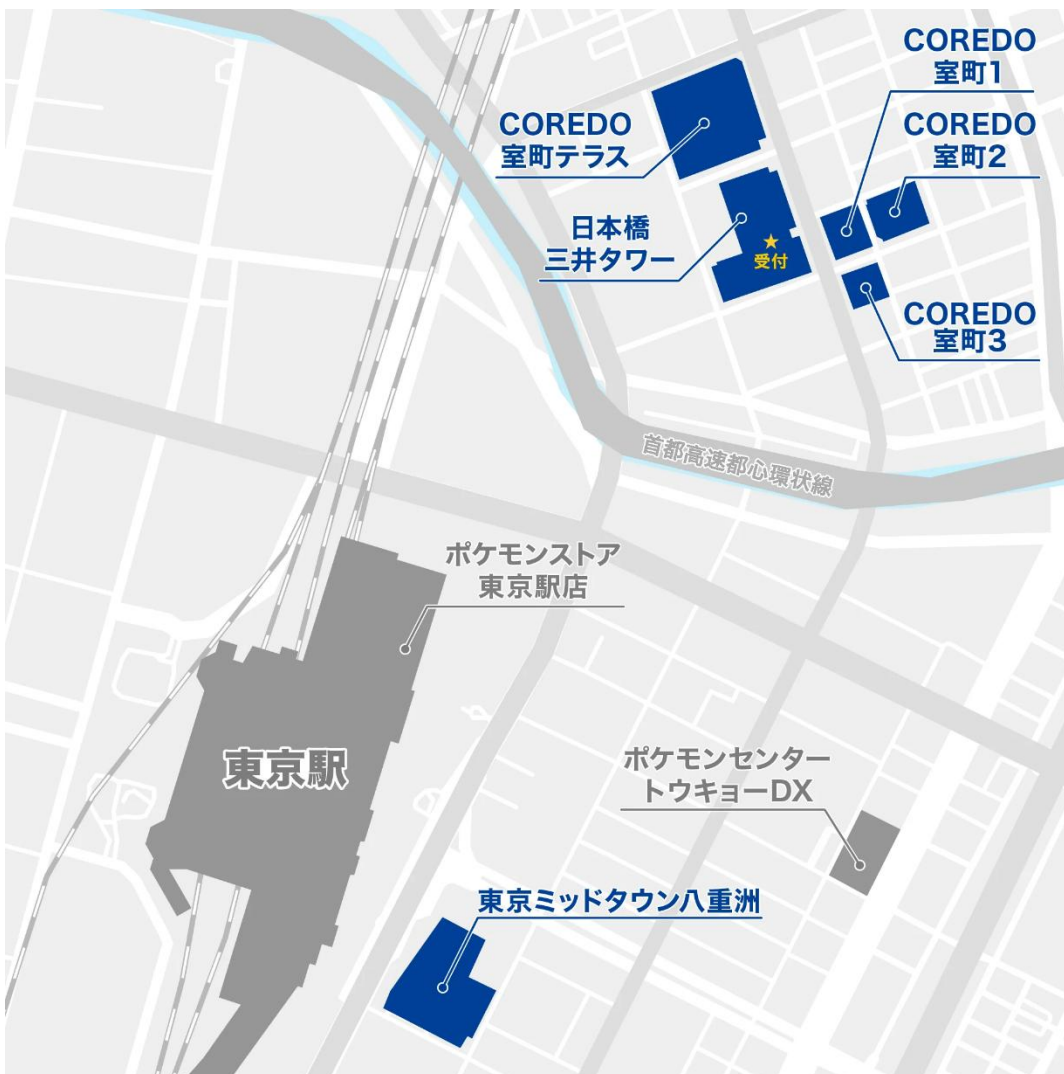


ゼルネアス・イベルタル 立像

「伝説のポケモンと出会う レジェンドリサーチ in 日本橋＆八重洲」概要

- イベント名： 「伝説のポケモンと出会う レジェンドリサーチ in日本橋＆八重洲」
- 開催期間： 2026 年 9月9日（水）～11月29日（日）
- 開催時間： 平日 11:00～19:00／土日祝 10:00～20:00（※謎解きの開催時間）
- 開催場所： 日本橋・八重洲エリア
- 謎解き受付場所： 日本橋三井タワー1F
- 謎解きキット引換券 販売価格： 3,300 円（税込）
※街に姿を現すポケモンたちは、無料でご覧いただけます。
- 謎解きキット引換券販売期間： 11月29日（日）まで
- 販 売： 三井ショッピングパーク チケット、チケットぴあ
（下記公式サイト内にチケット購入リンクあり）
- 公式サイト： <https://mitsui-shopping-park.com/urban/legend-research>
- 主 催： 三井不動産株式会社
- 協 力： 株式会社ポケモン
- 協 賛： 東海旅客鉄道株式会社

<主な会場情報>



■本イベントに込めた想い

三井不動産はエンターテインメントの力を活用した街づくりを推進しており、人や文化が集い、新たな発見や交流が生まれる街を舞台に、さまざまな体験価値の創出に取り組んでまいりました。

本イベントの舞台となる日本橋・八重洲エリアは、江戸時代から全国の人や文化、モノが集まり、新たな価値や交流が生まれてきた街です。現在も、歴史ある街並みと最先端の都市機能が共存し、多くの人々が行き交う東京を代表するエリアとして進化を続けています。

今回のイベントでは、「街を歩きながら発見する楽しさ」や「さまざまな場所を巡りながら新たな出会いを生み出す体験」に着目しました。多彩なスポットが集積し、歩くたびに新しい魅力と出会う日本橋・八重洲エリアだからこそ、ポケモンたちを探しながら街を冒険する本イベントの舞台にふさわしい場所であると考えています。

施設の中だけで完結するイベントではなく、日本橋・八重洲の街全体をフィールドとして活用するという考えに JR 東海様にもご賛同いただき、首都圏のみならず全国から訪れる方々が自然に街を歩き、普段は気づかない場所や景色、街の魅力に出会うきっかけを創出します。

三井不動産は今後も、街の魅力と多様なコンテンツを掛け合わせることで、リアルな場ならではの体験価値を提供し、人々の交流や街のにぎわいを生み出す取り組みを推進してまいります。



■ポケモン 30 周年について

ポケットモンスター、略してポケモンは、たくさんの謎を秘めたふしぎな生き物。これまでに 1000 種以上が発見されており、その生態は非常に個性豊かです。

ポケモンは、1996 年 2 月 27 日（火）に『ポケットモンスター 赤・緑』が発売されてから 30 周年を迎えました。捕まえて育てる「コレクション性」や、友達同士で交換や対戦をする「コミュニケーション性」などの遊びの要素が詰まったポケモンは、テレビアニメ・映画・アプリ・グッズなど幅広く展開され、グローバルな人気を得ています。

公式サイト：<https://www.pokemon.co.jp/30th/>

【添付資料①】 三井不動産のエンターテインメントの取り組み

三井不動産は、これまでエンターテインメントの要素を取り入れた街づくりを手がけてきました。2021 年の東京ドームのグループ会社化を契機に取り組みを一層強化し、2024 年 4 月に策定した長期経営方針「& INNOVATION 2030」においても、「エンターテインメントを通じた感動体験の創出」を重点領域の一つに位置付けています。

その一環として、収容人数 1 万人規模の多目的アリーナ「LaLa arena TOKYO-BAY」（千葉県船橋市、2024 年 5 月開業）や「（仮称）名古屋アリーナ」（愛知県名古屋市、2027 年秋竣工予定）をはじめ、エンターテインメントを体験できる場の整備を進めています。また、「MIYASHITA PARK」（東京都渋谷区）における施設全体の体験型メディア化を通じ、アーティストやコンテンツの発信拠点として都市空間を活用するなど、日常とエンターテインメントが融合する空間づくりに取り組んでいます。

今後も、多様な場とコンテンツを掛け合わせ、エンターテインメントの力を活かした街づくりを推進してまいります。



東京ドームシティ
(東京都文京区)



LaLa arena TOKYO-BAY
(千葉県船橋市)

【添付資料②】 三井ショッピングパーク チケットについて

三井ショッピングパーク チケットは三井ショッピングパークポイント会員向けのチケット販売サービスです。コンサートやスポーツ、イベント等のチケットを取り扱っています。

<https://ticket.mitsui-shopping-park.com/>

【添付資料③】 三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によってさらに大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時に、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

・「グループ長期経営方針」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/